



# ほのほの



## 子育てがんばっています!

「早く起きなさい」の掛け声からスタートする兵頭家。長女、次男、長男、次女の順番で起きてくる子ども達。  
後、何年子ども達の名前を呼んで起こせるのかなあ～。大変だった日々がふと懐かし  
く思えるのは、きっと元気で育っているからなんだと実感しています。  
この先も、変わらず元気で過ごせますように!!

父 母：兵頭伸治、美香  
こども：育真<sup>いくま</sup>・樹香<sup>このか</sup>・完弥<sup>かんや</sup>・芽留<sup>める</sup> わんちゃん：Bond<sup>ボンド</sup> (宮下)

## 郡中地区公民館での家庭教育学級

11月24日(木)

「子育て・家庭教育について話し合う会」が開催されました。  
6歳から高校生のお子さんをお持ちの米湊地区愛護班の保護者17名が、子育てで楽しかったこと、心に残ったこと、苦労したことなど子育て生活を振り返り、子育てについて語り合いました。終わりに子育てグループのサポーターから「やる気を育てる」と題し講話がありました。

### 『やる気を育てる』

まずは子どもの抱えている心の問題を取り除いてあげること。

- ・今の子どもは、することが多くストレスが増加している。
- ・子どもは、居心地のよい居場所が必要である。

家庭におけるしっかりとした生活の基盤を作ること。

- ・親と子で作る日々の生活設計。
- ・生活のリズムを整える。
- ・将来の夢をはぐくむ。

やる気は、ほめて育てることが基本。

- ・ほめるべきことを、ほめるべき時にほめる。
- ・才能よりも努力をほめる。
- 「○○だったのに、○○になったね」
- ・叱る時は、子どもなりに納得出来るように叱る。

愛情のかけ方に差があるので  
はと心配だったが、互いに話  
し合う中で親としての自信と課  
題を見つける契機になった。

叱り方や子育てに不安を感じ  
ていた。講話を聞いて「やる  
気を育てる」子育てを心がけ  
てみようと思った。



個別の相談や少人数グループの話し合いを希望される方は下記までご連絡ください。

連絡先

## 伊予市家庭教育・子育てサポートグループ

☎982-5155 FAX.982-5156  
〒799-3113 伊予市米湊768-2 (伊予市教育委員会社会教育課内)

子育て真っ最中の  
皆様の応援をします。

## 伊予市家庭教育・子育てサポートグループ

# 初!!! 伊予市立図書館でのコラボイベント

伊予市立図書館&双海の子ども読み語り隊&伊予市家庭教育・子育てサポートグループ 6月25日(土)



本のある図書館で、子どもの読み語り隊によるお話、それをもとにした、子育てサポートグループによる楽しいポストカード作り。三つの部隊が合体することで、子ども達の生き生きとした活動が続き、有意義な時を過ごせたと好評でした。

## 伊予市立図書館

本は読んだり聞いたりするだけでは、もったいない! 本をもとにして、楽しい活動の場を提供するのは図書館。

## 双海の子ども読み語り隊

絵本に出てくるキャラクター「だるまさん」の動きに合わせて体を動かし、会場みんなで真似っこ遊びをしました。また、画用紙や絵の具を使って「はらぺこあおむし」を作りお話を演じました。

## 伊予市家庭教育・子育てサポートグループ

しもんスタンプに挑戦!

指に、赤、青、黄、緑などの好きな絵の具をつけ、はらぺこあおむし、ちょうちょ、お花など自由に描いたらすてきなポストカードが完成しました。



## 参加者より

子どもが、とても楽しめたようで良かったです。また開催あれば参加したいです。

子ども達の読み語り、いろいろと工夫されていてとても上手で楽しかったです。

しもんスタンプは初めてでしたが、指でいろんな絵がで、親子で楽しめました。

## 子育て悩み相談

### 「暴言・暴力がはげしい子ども」



「うるさい!」「あっちいけ!」、物をけったり投げたりする。優しい言葉かけをしても「イヤ!」「もうやらん!」と言って、お母さんを叩く。何をしても、大人がイライラする態度。子ども側の問題ではなく、関わる大人の問題として考えてみましょう。

#### 対応のヒント

「そういう言動でしか表せないのはなぜだろう」と考える。

人と関わりたい気持ちはあるものの、素直に聞けないところがある。だったら、素直に対応してあげましょう。

「困った言動には関わらない」見てみぬふりをする。

困った言動にはコメントしない。冷静に必要な言葉だけを伝える。「片づけて遊ぼう」として、今すべき活動を一緒にしようと誘う。「電車で遊ぼう」楽しそうに遊んでいたなら、近寄ってきてくれ、一緒に遊んでくれる。

「いい言動をほめる」「あなたのことは大好き」と言い続ける。

一緒に遊んでくれたら「線路作るのじょうずね」「へえ、こんなに作ったらおもしろいね」などとほめる。「一緒に遊ぶと楽しいね」「遊んでくれる○○ちゃん、大好き」と何度も伝える。



数回ほめたくらいでは変化はありません。困った言動に注目しないこと、好ましい言動をほめること、一緒に居るのが大好きだということ、これを続けることで子どもは変わってきます。子どもに大人の気持ちが伝わります。大人の態度や言葉掛けて、子どもも素直になれることでしょ。

## 北山崎小学校での学習会 10月14日(金)

エリック・カール作「はらぺこあおむし」のお話の続きをサポートグループスタッフで考え、大型紙芝居を作りました。

くいしんぼうのはらぺこあおむしくん、いろんなものをつぎつぎに食べてきれいなちょうちょに成長しましたよね。

### 「そのちょうちょは、その後どうなったでしょうか?」

という問いかけに子ども達は、紙芝居の絵を見ながらストーリーを考え発表してくれました。子ども達の自由な発想には脱帽です。まさに、ファンタジーワールドを会場みんなで楽しみました。



最後に、サポートグループ制作「にじいろちょうちょ」の大型紙芝居を披露しました。「大丈夫!これから、いろんなことに挑戦し楽しい夢をかなくてね!!」



## うえの保育所での学習会 11月11日(金)

敬老参観日ということで、大好きなおじいちゃんやおばあちゃんに、かっこいいところを見せようと、張り切っている子ども達の姿がまぶしいそんな会場でした。

「大きくなったら」のペープサート(紙人形劇)を見て、将来の夢を発表しました。

次に、アンパンマンとじゃんけん大会をして大いに盛り上がり、また、かがくいひろし作「だるまさんが」の本を読みながら、お話に出てくるだるまさんのポーズをとって、みんなで遊びました。最後の、ニコッと笑うだるまさんのページをめくると、たちまち会場は素敵な笑顔でいっぱいになりました。

絵本は読むだけではもったいない。こうして身体を動かしたり、会話を楽しんでみてはいかがでしょうか。



## 子育て支援センター 動物園を作ろう!

平成29年 1月11日(水)

郡中地区公民館に、1~3歳までの子ども達と保護者の方が集まりました。

小さい子ども達にとって、指先を使って紙をちぎって遊ぶことはとても楽しいことです。新聞や色紙をたくさんちぎり、雪のように降らせる遊びはとても盛り上がりました。

その後、動物の影絵の上に、ちぎった紙を貼り、動物園にして作品を仕上げました。

ふだん家ではできない遊びに大喜びでした。親子で楽しいひと時が過ごせました。

